

◆鉄鋼研究振興資金による平成 4 年度実施の研究助成テーマの選定結果◆

本会では、「大学における鉄鋼研究の活性化、鉄鋼研究者の育成」のため、社団法人日本鉄鋼連盟運営委員会会社からの 5 億円ならびに本資金設置の趣旨にご賛同の会社からのご寄付により鉄鋼研究振興資金 (5 億 4 350 万円) を設け、資金の元本により生じる果実を鉄鋼に係わる基礎・基盤的研究テーマに対する助成金の交付に当てる研究助成事業を実施することになりました。

このため、平成 3 年 2 月鉄鋼研究振興助成金選考委員会 (委員長: 北村卓夫・新日本製鐵副社長) を設け、平成 4 年度から助成金交付を行うため昨年 5 月~7 月号に研究助成テーマ募集を会告し、91 件の応募をいただきました。

さっそく研究分野別に三つの選考分科会 (それぞれ大学 2 名、企業 8 名で構成) を設置して学術評価を行い、さらに鉄鋼研究振興助成金選考委員会において本助成金創設の趣旨にそった諸要素を勘案の上、20 件を選定いたしました。

研究分野、研究テーマ、研究依頼者の氏名、所属、研究期間及び研究費支給額は次のとおりです。

研究分野	研究テーマ名	研究依頼者 (所属機関・役職・氏名)	研究期間 (年)	研究費 (万円)
高温物理化学・プロセス	金属の初期凝固現象に及ぼす磁気圧の効果	名大・工 助手 佐々 健介	3	490
	鉄鋼製錬過程において、ぬれとマランゴニ効果が関与する各種現象の解明	九工大・工 教授 向井 楠宏	3	250
	鉄-クロムスピネルの構造と還元特性	東工大・工・金属 技官 宮川 裕子	3	210
	次世代製鉄製鋼プロセスにおける反応炉に関する基礎的研究	早大・理工・材料 助教授 伊藤 公久	3	250
製鉄・製鋼共通	溶鋼用酸素センサ向け固体電解質の電子伝導性パラメータ迅速測定法の開発	千葉工大・工 教授 雀部 実	2	160
	固体鉄スクラップの脱 Cu, 脱 Sn, 脱 Zn	京大・工 助教授 岩瀬 正則	3	500
製鋼	連铸パウダーの熱拡散率に関する研究	茨城大・工・物質 助教授 太田 弘道	1	200
分析評価・解析技術	充填層及び流動層の壁面近傍の粒子の接触挙動と周囲流体の流動が伝熱係数に与える影響の微視的検討	東工大・工 助教授 佐藤 勲	2	310
	STM 装置におけるオージェ電子発生を利用した STM-AES 測定装置の開発とその多相金属表面研究への応用	山梨大・教育・化学 助教授 小宮山 政晴	3	250
加工・利用技術	冷間圧延における板表面性状の予測・制御システムの適用	横国大・工 教授 小豆島 明	3	210
	射出成形法による焼結合金鋼の高性能化	熊本大・工 助教授 三浦 秀士	2	450
表面技術	高感度カリブソメーターによるメッキ (電析) 初期反応の解明	名工大・工・応用化学 助教授 大塚 俊明	2	200
	電気化学的顕微ラマン分光法による耐候性鋼および表面処理鋼板の <i>in-situ</i> 腐食過程と防食機構の基礎的研究	室蘭工大・工・材料物性 教授 三沢 俊平	3	500
萌芽・境界領域	燃焼反応プロセスによる TiAl 基複合材料の <i>in-situ</i> 合成に関する研究	大阪府立大・工・金属 講師 間瀬 博	2	160
材料の組織・性質	アトムプローブによる鉄基超微細結晶粒軟磁性材料の微細組織の解析と結晶化過程における合金元素の挙動の解明	東北大・金研 助手 宝野 和博	2	500
	原子炉用耐熱ステンレス鋼の σ 相析出による脆化の研究	愛媛大・工 教授 篠原 和充	3	210
	鉄鋼材料の変態組織からの機械的性質の予測法	豊橋技科大・工 助教授 梅本 実	2	160
	マイクロアロイ鋼に関する状態図の熱力学的解析	東北大・工 助手 大谷 博司	3	500
	極低炭素 IF 鋼の歪時効硬化特性に及ぼす微量固溶炭素原子の挙動に関する研究	室蘭工大・工 教授 田頭 孝介	3	250
	極低炭素鋼における複合析出物の平衡論的解析	九工大・工・物質工学 助教授 長谷部 光弘	3	250